

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年 一月度 入選句（投稿総数二千四百二十四句・一般投句数六百十二句）

特選

思ひきり母に近づき御慶かな

選者 大堀 武直

神奈川県横浜市 龍野 ひろし

御慶は年始に交し合ふ新年の祝詞。

母は老いて耳が遠いのか、ベッドの上であろうか。思いきり顔を近づけ、大きな声で「あけましておめでとうございます」と言った。母の笑顔が目には浮かぶ。深い愛情が伝わってくる。

日脚伸ぶ嬰が真似する鳩時計

大垣市 佐藤 すみ子

日脚とは太陽の東から西への動きのこと。冬も終りに近くなると、昼の時間が次第に長くなるのが実感される。春はもうすぐやって来る。

日脚伸ぶという季語と、嬰の成長ぶりを取り合せた。嬰のほほえましい元気な様子がよく分かる。

狛犬の耳ぴんと立つ初日の出

京都府城陽市 八田 弥須子

初日は一月一日の日の出のこと。気分が一新してきよらかな、おごそかな印象がある。

神社への初詣の折、狛犬に初日が差して来た。狛犬に新らたな命が甦るように見えた。それを、耳がぴんと立つと表現したところが素晴らしい。

秀逸

寒晴の中へ白球打たれたり

大垣市 小林 研

初売や知足と唱へ行きすぎる

岐阜市 伊藤 瑞実

龍絵風飛び出て町の龍となれ

愛知県額田郡 平松 京師

人違ひされて加はる日向ぼこ

安八郡神戸町 高橋 泰

寒の水飲んで地球に生きてをり

愛知県名古屋市 舘野 茂子

冬霞水脈を残して櫂の音

大垣市 今津 正元

脂なき指古書めくる冬日かな

大垣市 宮上 美濃留

公園に雲梯の子ら日脚伸ぶ

大垣市 傍島 隆

合掌で閉ぢる日記や去年今年

大垣市 末守 節子

縄跳びに入れてもらへず冬夕焼

岐阜市 いしざきむねとし

入選

餅花をかついで皆に見せ歩く
冬蒨や昭和の歌を口ずさむ
しあわせをかみしめている雑煮かな
深閑と七ツ下がりの時雨かな
ゆるやかに紡ぐ会話や三日果つ
退屈も倅せのうち葛湯吹く
一齡を加ふる重み寒椿
幼な顔残す巫女より破魔矢受く
日短かくなりたる帰路に一番星
片はだを脱いて舞う児ら息白し

大垣市	幅起志子
大垣市	平野きぬよ
大垣市	岩田正
羽島郡笠松町	易田英明
安八郡神戸町	高橋泰
福井県福井市	三ツ山ひろし
不破郡垂井町	臼井梅乃
大垣市	村田通夫
不破郡垂井町	高木紫雲
大垣市	三輪葉加

入選

厳寒や星弾き出す柝の音
何の木と問うて見上げる冬木の芽
寒つばき袂紗さばきの白き指
掘り炬燵飼い猫よりも丸くなり
魂の八百万かな冬銀河
一月や領巾新しき狐塚
寒卵独り居も慣れ独りの餉
伊吹嶺の風の囁や若菜摘
母ありて母に甘える女正月
昼酒を少しいたadaki初句会

静岡県沼津市	堀野一郎
大垣市	日比野美千子
大垣市	川瀬芙沙子
大垣市	高柳知加子
不破郡垂井町	竹並朋喜
不破郡垂井町	久保田紘義
大垣市	樋口絹子
大垣市	臼井秀子
大垣市	名和よちゑ
兵庫県神戸市	岸下庄二

選者吟

よろしくと五体に頼む初湯かな

武直